

鍋倉山山スキー報告

積雪不足でもブナ林滑走は素晴らしかった！！

【山城】 関田山脈・鍋倉山

【日程と天気】 2020年1月26日(日) 晴れ

【メンバー】 CL 菊池・SL 池田・坂倉(会員外)・伊藤(会員外)・飯郷(会員外)

【行程】

宿—温井駐車スペース(550m)9:19—田茂木池脇—台地—西ノ沢右岸ルート—ブナ林—黒倉山との鞍部—13:07 鍋倉山山頂(1289m)13:30—北東斜面ブナ林滑走(標高差約150m)—登り返し—滑走—台地—道路ルート滑走—シートラで温井駐車スペースに下山 15:50



・26日戸狩スキー場の積雪は85cmと例年の半分以下、9:00の温井の先行車は10台でこれも例年の半分以下であった。初めからシール歩行可能であるが、どこでも行けるわけではなく山肌の出ている右端を辿って進む。藤巻尾根同様、登りはじめは藪で少しの間苦労する。ぎょぎょ！！例年の除雪が始まった4月の様相である。飯山の雪祭り用

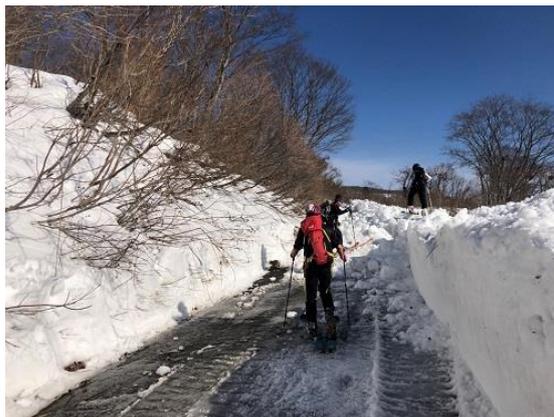




の雪運びのためにこんな光景が??気を付けて進みます。先行トレースを辿り小屋脇の沢に落ちないように道路に上がって行く。



除雪終了地点はこんな按配で可笑しくなりました。この辺は田茂木池から台地にかかる道路上で、ここから入って行きますが、ようやく除雪道路から解放されます。



例年なら沢や藪が埋まっており、ルートはどこでも選択できるが、今年はこんな感じでルーファイが苦勞するが、先行トレースがあるのでそれを辿る。左側の巨木の谷を見下ろす尾根に先行の7人Grが登っている。



早くも滑走してくるGrもある。開けた斜面に素晴らしいシュプールが刻まれておりテンションが上がってきた。大寒の最中なのに、鍋倉山ブルーのもと風もなく残雪期の春を思わせる暖かさに、気持ち良く休憩をとった。



西ノ沢に向かうが、沢が埋まりきっておらず、藪が煩いためトレースは道路上を進むようになる。なんだか今日はスノーハイクです。素晴らしい上越の雪山眺望にうっとり！！滑走は？？？これで十分と思うほどのスノーハイク日和であった。さあよいよ西ノ沢に沿ったブナ林急斜面のトラバースの登りです。先行トレースを辿ったが苦勞を強いられるポイントがあり、小生はツボ足で5mほど登った。シールを忘れS



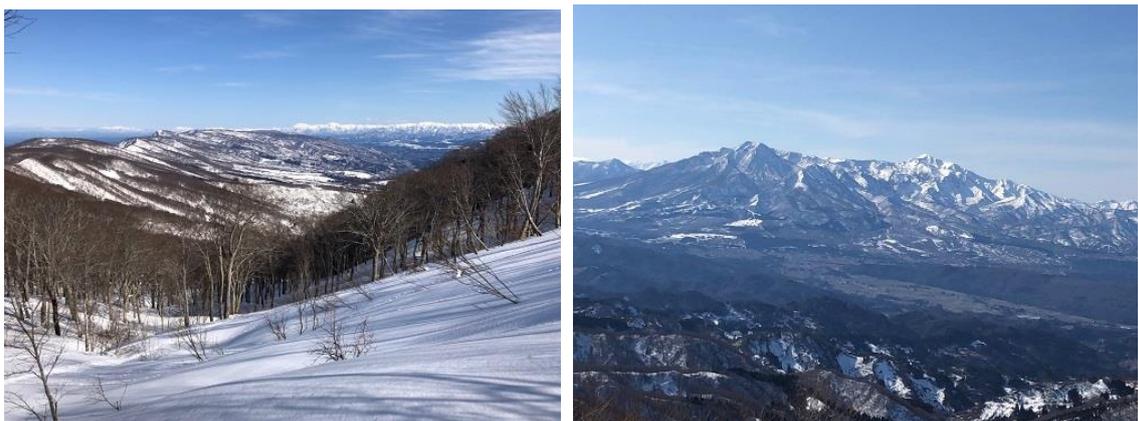
A君のやや幅の狭いシールを借りたため滑りやすかった。IK君はクトーを装着しており楽勝であった！！とうそぶいていた。暫くトラバースでやや緊張しながら進むが、漸く藪も気にならない快適滑走が約束されるブナ林帯となった。いつ来ても期待を裏切らない素晴らしいですね。一時テンションが下がりかけたが、これでテンションが再上昇、山頂に向かうだけである。



滑走ルートを考えながらのルンルン気分でのシール登行です。締まった下地の上に温存されたパウダーが10cmほど、前日の藤巻尾根より滑りやすい状況のようで期待が高まります。間もなく稜線ですが、例年なら埋まっている低木がいっぱい出ています。



振り返ると信越トレイルと上越の山々が素晴らしいです。スタートから約4時間で登頂です。ラッセルもないのにかなりの時間を要しましたが、例年にない前半の状況により時間を要したようです。対面の妙高山と火打山で例年より雪が少ない状況が分かります。



後続で登頂した群馬のソロの方に記念撮影していただき、お待ちかねの滑走です。

- ・山頂では -4°C 、硬い下地は弱層になっており、またガリガリ部分も懸念されるため、山頂からのエントリーは避けて少し稜線を下りました。滑りやすい雪質ですが藪が煩く横滑りなどを交えて滑走し、右方向にトラバース気味に急なブナ林に入っていきます。やはり急な部分では上に載っている軽いパウダーが雪崩れますが、薄いため問題はありません。急斜面に慎重にターンし始めるとガリの部分が少しあり、メンバーに注意を促しました。スピードが出るためコントロールが重要ですが、概ね快適な滑走ができました。



逆光に映える S A 君の雪煙を上げる豪快な滑りです。

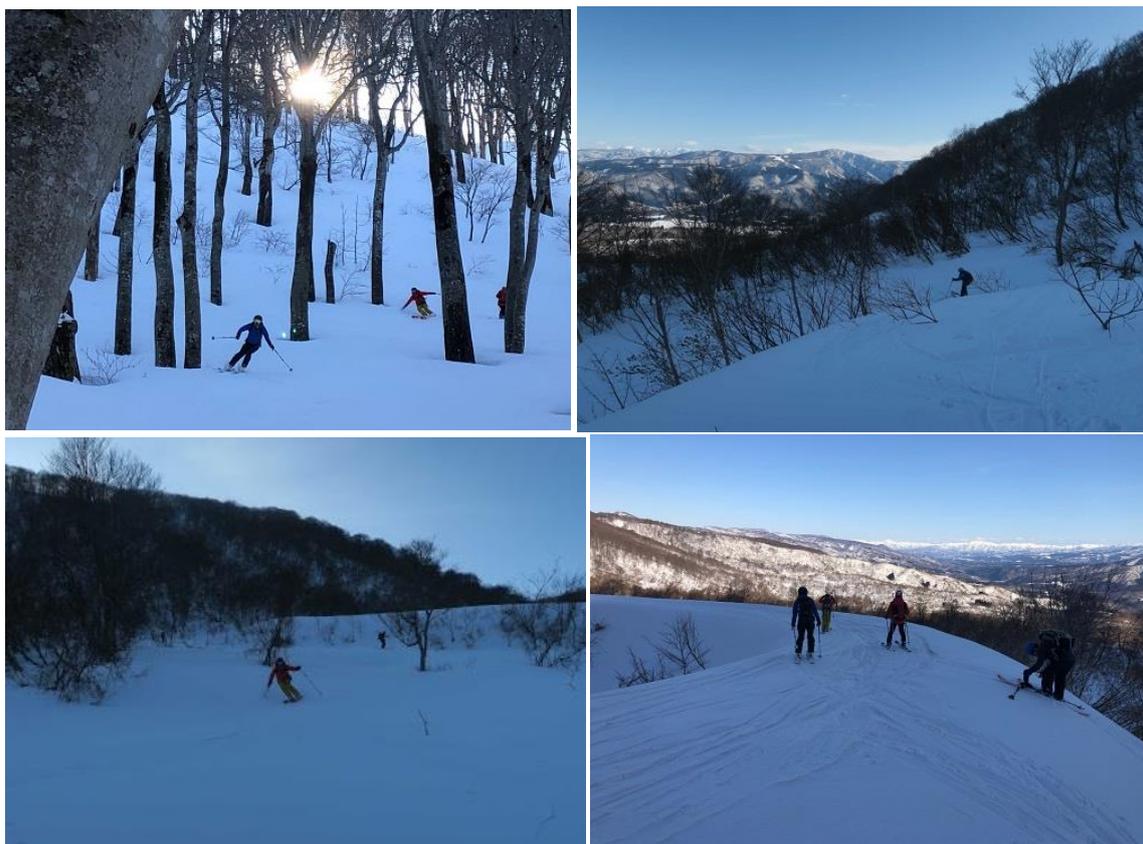
斜度が緩むと快適なパウダーランを堪能でき、思い思いのシュプールを描いていました。

I K 君の素晴らしい滑りです。



今シーズン初BCの I T さんも安定した滑りで楽しんでいます。あまりの快適さにお替りのため登り返します。西日が差し込むブナ林の素晴らしさ身も心も震えました。お替りで小生は右の緩斜面の尾根状ルートでノートラを気持ち良く滑走しましたが、若者はトラバースして急斜面から滑走、精鋭二人の共演は絵になり

ます。台地ではしばらくの間、藪を避け開けたエリアを気持ち良く滑走。



台地の後半は快適な車道ルートを選択して、ショートターンを楽しみながら下った。除雪終了地点の重機の横を通過します。小屋の脇は沢に落ちないように横滑りで慎重に滑走しました。



最後は無理をせずシートラでのんびりフィナーレに向かいました。16時少し前駐車スペースに到着、充実した一日でした。妙高・北信地区の2日間、積雪不足で色々ありましたが、味と変化のある(ありすぎた)素晴らしい山スキーツアーでした。

